長崎縣の社會事業

經費と新施設

長崎縣社會事業施設は縣社會課の活動と郡市町村當局の夫れと相俟ち逐年好成績を擧げ大正十一年度に於ける社會事業費は總計二百五十八萬千八百九十九圓に達して居る今同年度の各項目を見るに先づ行政機關費に於て縣市の吏員費市參與費を合せ三萬百六十七圓窮民救助費に於て自宅給與及災害救助費と政費行旅病人死亡人取扱費其他一萬九千五百圓軍事救濟費に於ては軍人遺家族廢兵救護費に於て縣費六百五十圓軍人遺族後援費に於て二百八十六圓合計九百三十六圓あり醫療的保護費に於ては結核療養所病院治療所の如き病院及療養所費並びに診療所費精神病者監護費其他に於て縣市町村と通じ九萬九千九百三十圓に達してゐる總じて社會事業施設として最も縣市が力を入れて居るものは即ち經濟的保護費に屬する施設で職業紹介所費として長崎市に六千八百五十圓授産費共同宿泊所公設食堂共同浴場公益質屋の如き施設は未だ本縣にはないが小住宅費として縣費一萬千五百圓市費に於て長崎佐世保の兩市で九萬三千七百七圓公設市場費として郡市町は九萬四千九百廿一圓其他施設費廿四萬七千二百五十圓あるものを合はすると實に百六十五萬四千二百四十圓となるのである次に近來目覺しき發展を見て居るのは社會教化事業であつて其經費も二萬九千八百五十六圓に達して居る其内容は多樣に亘るが特に民力涵養青年團の奬勵に力を盡し處女會婦人會に對しては生活改善の趣旨を以て自動的に發展を期し地方改良部落改善の如きも着々其緒に就いて居る兒童保護費として幼兒の保育棄兒の養育就學兒童の保護から勞働兒童の保護まで教育と救濟とから縣に移した感化院事業や盲聾啞低能兒の保護其他に於て一萬六千九百八十圓を計上して居る以上の部類に加はらざるも其他の合として講習講話費善行者篤行者表彰費及各種社會事業資金として六十九萬三千四百廿二圓其他を合し七十二萬二百八十四圓に達して居ると

危害豫防と託兒所

製鐵所の計畫

總勞働者四萬である八幡市に最も必要な託兒所の施設は目下大谷に個人の託兒所があるのみにて可成規模も多きいが多數の稼働者の子弟を收容するに足りない所から八幡製鐵所では新に託兒所を建設して勞働者の能力增進を圖る筈である同託兒所は當初二、三十坪敷のホールに百餘名を收容し得る程のものを作つて漸次託兒狀況の成績に依て同地を擴大して行く筈である建築用地は未定であるが多分大谷附近が候補地に目せられて居る尚託兒所の建設と共に本年度製鐵所の新しい試みとして危害豫防技術員を置く事である之れは從來職工等が陥つて居たのに氣付かなかつた爲めつまらぬ事に人命を損じて居た事が多々あつたのに鑑みて各工場内に技術員を毎日派遣して詳細に取調べさせ危害の豫防に努め務むるものである之れが完成の曉は勞働者は安心して就業する事が出來る譯である

以上ハ八幡製鉄所託児所建設挿畫ヲ取調ベシニ本年度ニ弐万円ヲ計上セリト云ヘリ誠ニ結構ナル設備トシテ賞賛ニ値ヒス